

②緊急時モニタリング訓練

緊急時モニタリング計画の実地検証と、防災計画に基づき整備したモニタリング資機材等の操作習熟を図るため、環境放射線量の測定等を実施しました。また、モニタリング情報共有システムを利用し、実測値の情報収集を行いました。



③原子力災害医療訓練

佐世保市三川内地区において、30km 圏内の避難者を対象に避難退域時検査及び屋内において避難所(救護所)運営訓練、原子力災害医療講話を実施しました。その他の避難所には、除染や安定ヨウ素剤の服用等について、DVD を用いて説明しました。また、嵯峨市において、避難者の一部に内部被ばくの恐れがあるとの想定で、原子力研究開発機構(JAEA)協力のもと、ホールボディカウンター車(WBC 車)の運用訓練を実施いたしました。



④住民避難・誘導並びに広報訓練

一時移転の対象となった住民を避難車両(バス)及び自家用車で避難所まで一時移転を実施しました。訓練では、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手指消毒及び検温を行い、また、感染症対策のため避難車両及び避難所において、区画を設定する等の感染防止策を実施しました。離島においては、放射線防護施設への屋内退避訓練を実施しました。



⑤航空機(ヘリ)による人員搬送訓練

松浦市及び平戸市において、急患や被ばく傷者の発生を想定した、航空機(ヘリ)による原子力災害拠点病院等への人員搬送訓練を実施しました。



令和4年度福岡県原子力防災訓練実施結果の概要

1 目的

県民及び防災業務関係者の原子力防災対策の習熟及び意識向上、並びに防災関係者間相互の連携強化を図る。

2 日時

令和4年10月29日（土）8時～13時15分

3 場所

福岡県庁、糸島市役所 等

4 主催者

福岡県及び糸島市（佐賀・長崎県と連携）

5 参加者

機関数 103 機関（自衛隊、警察、消防、原子力規制庁、九州電力 等）

参加者数 約1,220人（うち、住民参加 約670人）

6 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下、九州電力株式会社玄海原子力発電所4号機運転中に、佐賀県内において地震が発生、その後、事故等複合事象により原子炉への全ての給水・注水機能等が喪失し、原子炉内の放射性物質が外部に放出された場合を想定。

県は、事態の進展に応じて、国、関係市町及び関係機関と連携し、地域防災計画等に基づく諸対策を実施。

7 主な訓練項目

- 情報収集・伝達訓練
- 緊急時モニタリング訓練

8 訓練内容

(1) 情報収集・伝達訓練

原子力災害時に、県民の安全及び安心を確保するため、九州電力や国からの情報を、正確に収集し、関係機関や住民に伝達。

- 国、3県との間でテレビ会議を開催
- 九州電力や国からの情報収集、関係機関への情報伝達等
- 県が応急対策（緊急時モニタリング）の実施状況を把握
- 県が道路障害情報の収集・伝達
- 学校、幼稚園及び保育園への情報伝達（10月25日実施。取材不可）

(2) 緊急時モニタリング訓練

避難指示等を国が出す際に参考にする「空間放射線量率」（一定時間内に空気中を通過する放射線の量）等を、県内各所で測定。

- 空間放射線量率の監視強化
 - ・ モニタリングポスト（9か所）におけるデータ収集頻度の増
 - ・ サーベイメータによる測定
 - ・ モニタリングカーによる測定
- 環境試料（水）の採取・測定
- モニタリングセンター（国）との情報伝達

(3) 広域避難訓練

万が一、原子力災害が発生した場合に備え、住民の「屋内退避」訓練を行い、更に、UPZ（原子力発電所から半径 30km 圏内）で高い放射線が確認された場合を想定し、「一時移転」（無用な被ばくを避けるため、一週間以内に当該地域から離れる）を実施。

- 新型コロナウイルス感染症対策を講じた広域避難
避難所運営マニュアル作成指針等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じて広域避難を実施
- 屋内退避
- 避難行動要支援者避難支援
在宅の避難行動要支援者への確実な情報伝達や移動の介助を実施
- 交通規制・誘導
主要避難経路の通行止めを想定した交通規制・誘導及び迂回路による避難
- 愛護動物同行避難
- 介護老人保健施設などの社会福祉施設等利用者の広域避難
避難元施設、中継施設、避難先施設が連携して、要配慮者の避難を実施
- 離島（姫島）避難
放射線防護対策設備（はまゆう）で屋内退避を実施

(4) 原子力災害医療訓練

放射性物質による被ばくの抑制・低減及び、汚染の拡大防止を適切に実施するために、避難退域時検査・簡易除染等を実施。

- 避難退域時検査・簡易除染
避難先でバス、自家用車及び住民の避難退域時検査、簡易除染を実施
- 安定ヨウ素剤の緊急配布
避難者に安定ヨウ素剤の緊急配布を実施（訓練では『模擬薬』を配布）
- 健康相談
県と放射線技師会が連携して、福岡市、志免町の避難所で健康相談・健康講話を実施
- 被ばく傷病者等搬送
 - ・（出勤前）救急現場の被ばく可能性（放射線量）を試算（国新システムを活用）
 - ・（現場活動）負傷者救急活動（糸島市消防本部敷地内）
 - ・（帰署時）消防隊員の汚染検査